

次期「町田市子どもマスタープラン」策定に係るヒアリングへの意見一覧

※いただいたご意見を集約しています。文言・表記の統一を行っています。

1 ヒアリング方法について

項番	委員名	対象ヒアリング	意見	回答
1	村野委員	全体 コドマチヒアリング (事業者)	本来の子ども達のための踏み込んだ話し合いをお願いいたします。 事業者の対象に、保育や学童、小・中学校関係者が含まれるとさらに良いと思いました。	今回のヒアリングは、アンケートを補完するために実施するため、個別の事業に関わる方を対象としたヒアリングは含めておりません。
2	井上委員	コドマチヒアリング (公募) ① コドマチヒアリング (公募) ②	どのような形で公募しているのでしょうか。ホームページは拝見しましたが、学校やどのような施設で掲示しており、現時点でどの程度の応募がありますか。せっかくなので、18歳以上の市民は子育てをしている人で幅広い世代に参加してもらいたいと思います。	幅広い世代の対象者に参加いただけるよう、広報まちだや市ホームページでの掲載に加え、X (旧Twitter) で情報発信しました。また、市民センターや図書館等の公共施設、保育施設、学童保育クラブ、小・中学校、高等学校、フリースクール、大学等へポスターを送付しました。 「コドマチヒアリング (公募) ①」は15名、「コドマチヒアリング (公募) ②」は8名が参加しました。
3	井上委員	コドマチヒアリング (大学)	大学生は町田市に居住する大学生という認識でよろしいでしょうか。 公募に際して、町田市にある大学の協力なども仰ぐのでしょうか。 7月は前期試験前のため、人が集まらないのではないかと思います。	大学生は、在住・在学が対象です。 なお、玉川大学の学生にヒアリングを実施します。
4	井上委員	コドマチヒアリング (事業者)	事業者とあるが経営者、総務系を対象としているのでしょうか。	労務関連の担当者を想定していますが、ヒアリング先の事業者と調整の上、可能な限り、現場で働く従業員にもヒアリングできるよう調整します。

2 ヒアリング項目について

項番	委員名	対象ヒアリング	意見	回答
5	鈴木会長	コドマチヒアリング (子どもセンター) コドマチヒアリング (ミニまちだ)	小学生にとって「子どもにやさしいまち」とはどのようなまちかという聞き方をするだけでは、具体的にイメージできない可能性があるのではないのでしょうか。	市が考える「子どもにやさしいまち」の案を提示し、それに対する意見を聴きました。また、「子どもにやさしいまち」「子どもにやさしくないまち」それぞれについて話を聞き、イメージしやすい形にしました。
6	鈴木会長	コドマチヒアリング (子どもセンター) コドマチヒアリング (ミニまちだ)	若者対象のヒアリング項目にある「町田市の未来のまちづくりについて、大人に伝えたいことがありますか」という問いも、小学生に対しても聞いてみた方が良いのではと感じました。	「コドマチヒアリング (子どもセンター)」実施時に、「大人に伝えたいこと」についてもヒアリングを行いました。
7	菅野副会長	コドマチヒアリング (子どもセンター) コドマチヒアリング (ミニまちだ)	「町田市子どもにやさしいまち条例」制定前のヒアリング時に、「やさしくない」についての反応の方がリアルな子どもの現状が現れていたように思います。ポジティブな方向で聞きたいのはわかるのですが、ヒアリングですし、ポジティブとネガティブの両面から聞いても良いのかなと思いました。	市が考える「子どもにやさしいまち」の案を提示し、それに対する意見を聴きました。また、「子どもにやさしいまち」「子どもにやさしくないまち」それぞれのイメージについても話を聞きました。
8	菅野副会長	コドマチヒアリング (大学生)	「町田市の未来のまちづくりについて、大人に伝えたいこと」という項目は、ずいぶん風呂敷が大きい気がします。どこの大学生を対象にするかによりますが、イメージしにくいのではと思いました。 「どのような機会があれば」という質問も、考えにくいように思いました。 「こういう機会があったら、参加したいですか？」 「どんなこと伝えたいですか？」というように聞いた方が良いように思います。	選択肢や例示を出しながら、イメージしやすくなるような聞き方をします。

項番	委員名	対象ヒアリング	意見	回答
9	井上委員	コドマチヒアリング (公募) ②	一方的な質問だけでなく、具体的に町田市でこういう取り組みをしているということをまずは説明し、課題などをヒアリングして、それを受けて、次回の子マス策定に際して、どのような取り組みをしていくべきなのか、広く意見をもらうのが良いと思います。いくら興味関心のある方でも、現状の取り組みを把握できていなければ意見できないと考えます。	「町田市子どもマスタープランとは何か」「どんな取組があるのか」「町田市子どもマスタープランでは何を指すのか」等を説明しました。
10	井上委員	コドマチヒアリング (事業者)	一方的な質問だけでなく、具体的に町田市でこういう取り組みをしているということをまずは説明し、企業が持つ課題をヒアリングするのが良いと思います。せっきやく企業へのアプローチを行うのであれば、経営層だけでなく、実際に制度を利用して育児休業を取得した人、多様な働き方で仕事と育児を両立している人などに話を聞いてほしいと思います。	「町田市子どもマスタープラン」や取組等について説明します。ヒアリングは労務関連の担当者を想定していますが、ヒアリング先の事業者と調整の上、可能な限り、現場で働く従業員にもヒアリングできるよう調整します。

3 その他

項番	委員名	意見	回答
1 1	井上委員	次期「子どもマスタープラン」策定にあたり子どもの意見は非常に重要だと思います。今回の意見をヒアリングするだけでなく、子ども・子育て会議のように継続的に子どもを対象にした会合を持ってほしいです。	既存の子ども委員会やMSPのような子どもを主体としたグループとの会合を引き続きもっていきます。
1 2	井上委員	町田市の良いところ、子どもたちにとってここが良いというのをぜひ聞いてみたいと思います。	子どもを対象とした各ヒアリング（項番1、2、3-1）において、実施しました。
1 3	井上委員	在宅、フレックス勤務は、子育てをしながらキャリアアップを進める女性の一つのロールモデルになるのではないかと考えています。様々な企業で子育てをしながら働く女性の意見を聞ぜひ聞いてみたいと思います。「3-2 コドマチヒアリング（公募）②」については、「3-3 働く女性」というヒアリングを増やし、議論する場があっても面白いと感じました。	ヒアリングの対象については、意見募集で示す6つの対象としました。事業者にヒアリングする際に子育てしながら働く女性の意見も聞くことを検討します。